

H22における収支改善（H21対比）

資料11-2

<p>◎医業収益の増加 +28.0億円</p> <p>○診療単価の向上 +26.5億円 (診療報酬改定効果—上位基準取得を含む) +12.3億円</p> <p style="margin-left: 20px;"> { うち手術に係るもの +8.1億円 うち手術以外に係るもの +10.2億円 ・急性期看護補助体制加算(急)、結核病棟入院基本料10:1(呼) 精神科地域移行実施加算(精)、強度行動障害入院医療管理加算(精) がん患者リハビリテーション料(成) 特定集中治療室管理加算1小児加算(母) { うち薬価・償還価格の減によるもの ▲6.0億円 (その他) +14.2億円 { うちDPC係数等見直しによるもの +6.9億円 { うち小児入院医療管理料算定件数増等によるもの +7.3億円 </p> <p>○延患者の増加 +1.6億円 ※成人病Cを除く4病院について、平均在院日数が短縮するなか新入院患者数を増加させ、延入院患者数についても増加 (H21 803,021人 → H22 805,790人)</p>	<p>◎医業費用(一般管理費含む)の増加 +18.0億円</p> <p>○給与費の増加 +7.9億円 ※医療部門の体制強化に伴う給与費増</p> <p style="margin-left: 20px;"> { ・医療スタッフの増加 +1.2億円 ・医師等への手当の拡充等による増加 +3.0億円 (宿日直に係る医療体制確保等手当による増加等) ・非常勤人員増及びレジデント報酬単価アップ等 +3.5億円 </p> <p>○材料費の増加 +3.5億円 { ・SPD事業者の価格交渉等による材料費の減少 ▲2.7億円 ・高度医療の拡大などに伴う増加 +6.2億円 </p> <p>○経費の増加 +6.4億円 { ・医療機器リース整備(急)、病院情報システム運用経費増(呼・母)等</p>	<p>◎医業収支増減額 +10.0億円</p>
<p>◎資本収入の増加 +6.0億円</p> <p>○長期借入金が増 +2.3億円 (H21 20.2億円 → H22 22.5億円)</p> <p>(○借入金元金償還に係る運営費負担金の増 +3.6億円)</p>	<p>◎資本支出の増加 +13.5億円</p> <p>○建設改良費の増加 +9.9億円 ・医療機器の更新等(H21 20.1億円 → H22 25.8億円) (急)リニアック (成)小線源治療装置・CT・ガンマカメラ 等</p> <p>(○償還金の増加 +3.6億円)</p>	<p>◎資本収支増減額 ▲7.5億円</p>
<p>収入の増加 +36.0億円</p>	<p>支出の増加 +31.2億円</p>	<p>収支増減額 +4.7億円</p>